

## ⑫ 実用新案公報(Y2)

昭63-28230

⑤ Int. Cl.

D 05 C

1/04  
9/04

識別記号

庁内整理番号

6557-4L  
6557-4L

⑭ 公告 昭和63年(1988)7月29日

(全2頁)

⑮ 考案の名称 刺繍枠の布保持装置

⑯ 実 願 昭58-148398

⑰ 公 開 昭60-56788

⑱ 出 願 昭58(1983)9月26日

⑲ 昭60(1985)4月20日

⑳ 考 案 者 牧 野 一 郎

愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地 アイシン精機株式会社  
内

㉑ 考 案 者 大 平 淳 夫

愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地 アイシン精機株式会社  
内

㉒ 出 願 人 アイシン精機株式会社

愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地

審 査 官 藤 井 元 泰

1

2

## ㉓ 実用新案登録請求の範囲

外枠と内枠とで布を緊張状態に挾持する刺繍枠の布保持装置において、前記外枠の上面部に、前記布をあらかじめ、緊張状態に保持するために、マグネットを3ヶ所以上装着し、前記外枠のマグネット上に載置された布を緊張状態で挾着保持するために、前記外枠のマグネットに吸着する別のマグネットを有して成る刺繍枠の布保持装置。

## 考案の詳細な説明

## 考案の対象

本考案は、刺繍枠の布保持装置の改良に関するものである。

## 本考案の利用分野

上記刺繍枠の布保持装置は、職業用及び家庭用ミシンの刺繍用、刺繍枠として又手芸刺繍用、刺繍枠としても利用出来る。

## 従来技術

従来、刺繍枠の布保持装置として、実願昭55-133011号(実公昭61-389号公報参照)がある。このものは、布保持のため、外枠と内枠の間にわずかな布スキマを設け、布をはさみ込み保持しようとしたものである。さらに外枠に位置決め用の突起をも設け布位置を確認出来るようにしたものである。

## 従来技術の問題点およびその技術的分析

この従来の刺繍枠の布保持装置では、外枠と内枠との嵌合スキマ寸法が一定に決められているた

め、厚物縫布を保持させようとした場合、外枠に内枠をはめ込む事がきつくて困難である。又、嵌合スキマより薄い縫布を保持させようとした場合、外枠に内枠をはめこんで刺繍縫布がすべりずれてしまい適度な張力を布へ与える事が出来ず、要望する刺繍縫いを実施しようとするに刺繍縫布が縫針の上・下運動に共動してしまうので、目トビがしたり糸切れがしたりして美しい刺繍縫い目を形成することが出来ない欠点があった。

## 10 技術的課題

そこで、本考案は刺繍外枠の上面部に、刺繍縫布を張付る為に、マグネットを固着し、該マグネットと吸着関係を持つ他のマグネットとの間に刺繍縫布を張付るようにすることを、その技術的課題とするものである。

## 技術的手段

前記技術的手段を解決するために講じた技術的手段は、外枠の上面部に、前記布をあらかじめ、緊張状態に保持するために、マグネットを3ヶ所以上装着し、前記外枠のマグネット上に載置された布を緊張状態で挾着保持するために、前記外枠のマグネットに吸着する別のマグネットを設けたことである。

## 技術的手段の作用

25 前記技術的手段は、次のように作用する。すなわち、刺繍外枠1上に、刺繍縫布12を覆わせ、前記刺繍外枠1上に固着されたマグネット6、

3

4

8, 10上に、各々別のマグネット7, 9, 11を吸着させることにより、刺繍縫布12は一端張付られるが、その後刺繍内枠2で前記縫布12を挿嵌し、最適な布張力を前記縫布12に与えるようになっている。

本考案によつて生じた特有の効果

本考案は、次の特有の効果を生じる。すなわち、刺繍外枠と内枠で保持出来ない刺繍縫布12例えばタオル地、キュブラ、ジョーゼット等をも、前記刺繍外枠上面部1'に固着されたマグネット6, 8, 10と、該マグネットと一対となつた他のマグネット7, 9, 11との間に、刺繍縫布12を張りつめることが簡単に出来る。(刺繍内枠は使用しなくて良い)

実施例

以下、前記技術的手段の一具体例を示す実施例について説明する。

刺繍外枠1の一個所を切り離し、開口部13

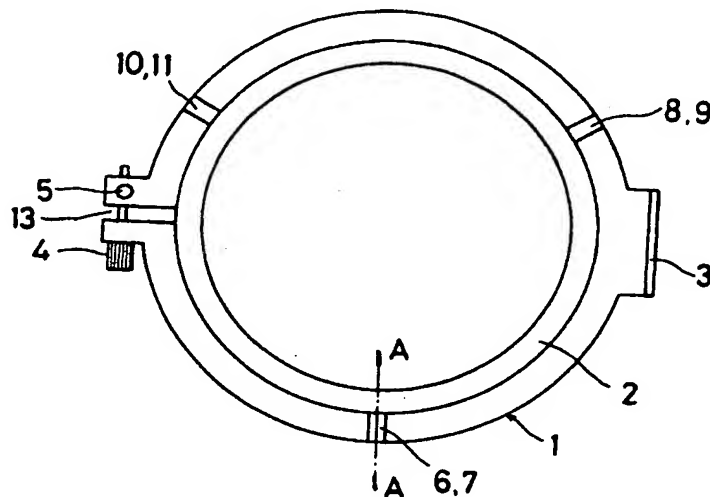
を、調整ネジ4と調節ネジナット5で開閉出来るようにし、対面側には取付金具3が前記刺繍外枠1に固着(実施例はインサート成形)されている。刺繍内枠2の外周面は前記刺繍外枠1の内周面と軽く周接する関係寸法に製作され、前記刺繍内枠2は連続一体的に成形され、ほぼ真円となっている。前記刺繍外枠1の上面部1'上に、マグネット6, 8, 10を各々一体的に成形し、該マグネット6, 8, 10に対応して各々マグネット7, 9, 11を吸引、取外し可能に装着されている。

図面の簡単な説明

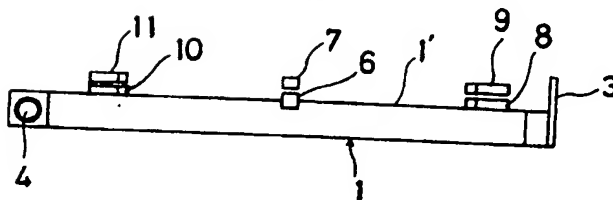
第1図は本考案装置の上面図、第2図は本考案装置の側面図、及び第3図は第1図のA-A断面図である。

1……外枠、1'……上面部、6, 8, 10……マグネット、7, 9, 11……マグネット。

第1図



第2図



第3図

